

# SEIKOUEEN REPORT

2024 HOKKAIDOU  
事業報告書 YUBARISHI



2024年清光園秋まつり



社会福祉法人  
清光園  
SINCE 1974

心でつながる 未来へつなげる

## 社会福祉法人清光園法人理念

最善の高齢者介護とは、管理の行き届いた施設で、事故なく安全にただ漠然と日々を過ごすことではない。

障害や病気によって多少の不自由や不安があったとしても、高齢者自身がそれなりに満足した日々を過ごせるよう支援していくことである。

つまり、生かされる支援ではなく、生きていくことの支援なのである。

私たちは常にこの視点に立ち適切なサービスに努めていく。

## 職場宣言

- 一. 私は、福祉職員として誇りを持ち、職場での役割を常に自覚し、知識と技術の向上に努めてまいります。
- 一. 私は、利用者を尊重し、一人ひとりのニーズにそったサービスに努めてまいります。
- 一. 私は、笑みとやさしさを常に絶やさず、明るい職場づくりに努めてまいります。
- 一. 私は、自己本位でなく、協調性をもって、適切なサービスに努めてまいります。

## 重点目標 「笑顔」

みんなが働きたくなる職場を目指す（夕張市外からでも）

誰もが入りたくなる施設を目指す（夕張市外からでも）

## 2024年度活動状況総括

令和6年度は、経営理念の浸透や経営方針の明確化を進め、全職員への共有を図るとともに、定款や各種規程の整備も行いました。

さらに、SDGs方針の策定に着手し、夕張市の将来性を見据えた中長期計画の策定に向け、持続可能な法人運営の基盤づくりを進めた一年となりました。

運営面では、人材育成や組織体制の明確化、業務の仕組みづくりを推進しました。

特別養護老人ホームでは、夏から秋にかけて稼働率が低下し、収入減となる厳しい状況が続きましたが、冬期には満床を維持し、稼働率の安定を図ることができました。

この経験を通じて、「新たな紹介先の開拓」の重要性を法人全体で再認識しました。

地域との関係においては、コロナ禍を経て初めての本格的な地域交流として、7年ぶりに秋祭りを開催しました。

多くの地域住民の皆さまにご来場いただき、笑顔あふれる盛会となりました。

夕張全体が一つになったようなその光景は、職員にとっても大きな喜びと原動力となりました。

また、法人の情報発信を担うSNSチーム「coco no chikara〜夕張ヒーローズ」が発足しました。

清光園（coco）の力と、職員一人ひとり（個々）の力を合わせて地域に貢献したいという思いのもと活動を開始しました。

発信力の強化と認知度向上に向けた新たな一歩となりました。

さらに、令和7年6月開設予定の栗山新事業所「Lien Village なんそら」の準備も順調に進んでおり、地域からの期待も高まっています。

新たな地域福祉の拠点となるべく、職員一同、丁寧に準備を進めてまいります。

今年度の重点目標として掲げた「笑顔」を胸に、職員一人ひとりを大切にしながら取り組んできたこの一年でした。

その成果は、法人の未来を明るく照らす希望となり、私たちに確信と誇りを与えてくれました。

社会福祉法人 清光園  
理事長 中條 俊博



## 「笑顔に寄り添う一年間」 ―令和6年度の取り組みを振り返って―

令和6年度を振り返り、私たちは「入居者様が自分らしく、笑顔で過ごせる暮らしを支える」ことを目標に、日々の支援に真摯に取り組んでまいりました。

ご本人の想いをくみ取り、その方らしい生活の継続を支えるためには、職員一人ひとりが「傾聴」と「対話」を重ね、支援の在り方を常に見直していく姿勢が欠かせません。

そんな中で、多職種が垣根を越えて協力し合い、思いを言葉にして伝え合える風土が、少しずつですが形になってきたと実感しています。

今年度はユニットリーダー研修施設としての更新審査に無事合格し、研修生の受け入れも積極的に行うことができました。

外部からの学びと交流は、私たち自身の成長にもつながり、施設全体にとって良い刺激となっています。

業務の効率化や負担軽減に向けては、介護ロボットの導入検討をはじめ、ICT活用の推進にも積極的に取り組みました。

リモートワーク規程の整備、人事労務管理システムの導入によって、勤怠管理から給与支給までの一元管理を実現しました。

さらに、生産性向上委員会ではICT化に向けた活発な議論が行われ、主任以上の職員にパソコンを支給するなど、環境整備に力を注ぎました。

これにより、業務の見える化や効率化が図られ、介護の質向上にも好影響を与えています。

ショートステイにおける“ホテルライク”な空間づくりについては、衣食住すべてに共通したサービスの質を高めるための重要なテーマであり、今後も引き続き取り組んでまいります。

この一年を通じて、改めて「笑顔」は入居者様と職員の双方が大切にすべきものであると強く感じています。

入居者様の笑顔が職員のやりがいとなり、職員の笑顔がまた入居者様の安心感へとつながっていく ― その循環が、より豊かな生活支援の基盤になるのだと思います。

最後に、この一年間、誠実に取り組んでくださったすべての職員に、心より感謝を申し上げます。

来年度も、笑顔溢れるより良い施設づくりを目指し、入居者様の「その人らしさ」に寄り添うケアを大切に歩んでまいります。

施設長 赤塚成樹

## 1 健全経営

### ◆稼働率◆

特養全体	実績	94.5%	⇔	予算	96.4%	=	-1.9%
内 入所	実績	94.1%	⇔	予算	96.2%	=	-2.1%
内 短期	実績	100.0%	⇔	予算	101.3%	=	+1.3%

### ◆情報発信◆

毎週金曜日にInstagramを定期投稿開始。

スタートフォロワー61名から年度途中で100名を突破！

順調にフォロワー数を伸ばしています。



### ◆入居促進◆

夕張市外からの特養入居実績5名。入居稼働率安定のため、空室利用を促進し年間計602室を活用。

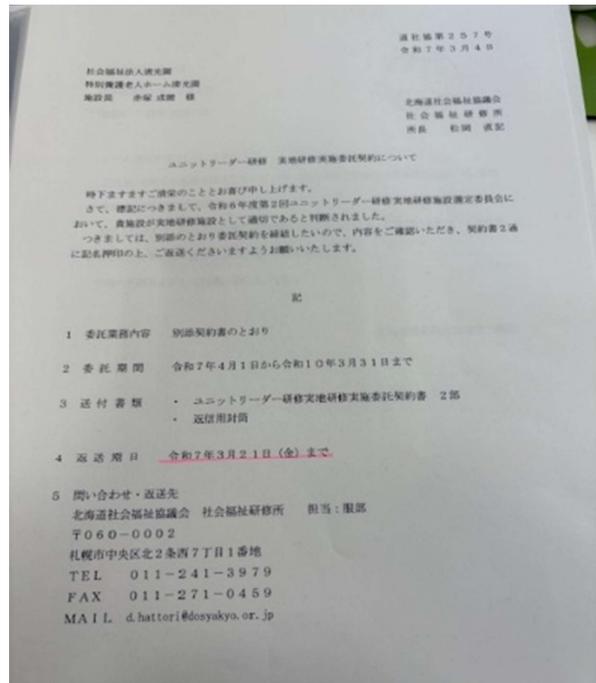
短期全体の32.9%を占める。

積極的に入居困難な方の受入れを促進し、結果、要介護1及び要介護2の方々の受け皿となり、計9名の入居を実施しました。

## 2 サービスの質の向上

### ◆ユニットリーダー研修◆

ユニットリーダー実地研修施設として合格点75点以上を目指し、見事、実地研修契約更新調査をクリアして委託契約更新となりました。



今年度のユニットリーダー研修生は28名の受入れを実施。毎回受入れ担当者は緊張しながら自分たちの取り組みを見直しながら当日を待っています。

常に平常心でいつもどおりを心がけ、気負うことなく自分たちらしさを前面にだして対応しています。

毎回常に新しい発見があり自分たちが進化し続けていることを実感しています。

◆楽しい行事◆



入居者様の笑顔のため、年間を通じて様々な行事を行っています。

春は花見やさつまいも植え、花壇づくり、夏はBBQ、紅葉狩りやコールリラコンサートも楽しみました。冬はクリスマス会やおにぎりパーティーを行い、心温まる時間を共有しました。

犬とのふれあいを楽しむドッグセラピーも実施し、多くの笑顔が見られました。

今後も、四季を感じる行事を通して、豊かな暮らしを支えてまいります。

### 3 地域貢献

#### ◆地域との交流◆

地域との交流を大切にし、様々な地域行事に積極的に参加してまいりました。小学校の運動会やこども神輿、保育園のおゆうぎ会など、地域の子どもたちとのふれあいを通じて、世代を越えたつながりを深めてまいります。

また、秋には7年ぶりに「清光園秋まつり」を再開し、地域住民の皆様にもご参加いただく盛大な行事として開催しました。

地域と一体となって作り上げたこの祭りは、多くの笑顔と交流を生み出しました。今後も地域に開かれた施設として、地域貢献の取り組みを継続してまいります。



## 4 人材育成

### ◆育成リーダー◆

誰もが活躍できるように人材育成のための指導的職員の育成を行いました。



### ◆ステップアップ研修◆

内部研修、外部研修を通じて職員のステップアップを図りました。



理念研修



車椅子操作勉強会

### ◆実習生の受入れ◆

実習生・ボランティアを積極的に受入れる仕組みづくりを行い、清光園を多くの方に知ってもらい人材の確保に努めました。



北海道介護学校実習生：2年生1名受入



環境整備ボランティア

◆年間稼働率◆

一号棟 97.2%

二号棟 98.4%

退去の理由が入院や清光園への住み替えが多く、新規の入居希望者も少なかったため、調整に苦慮したことが稼働低下の原因です。

今後は稼働率を意識しながら、待機者の確保に努め早急な調整を行います。

◆新規入居者様◆ 9名



◆退去された入居者様◆ 9名



◆生産性向上の取り組み◆

クロノスの導入により、スケジュールが共有できるようになり、勤怠管理がスムーズになるなど、管理業務の生産性が向上しました。

また、記録を手書きからデジタル化し、スタッフの書く作業が減りその分入居者様と関わる時間が増えたことで入居者様もスタッフも嬉しそうな印象となっています。

◆専門性の高いケア◆

介護経験年数が3年以上のスタッフが介護実践者研修を受講しその後介護福祉士国家試験合格し、まどかに介護福祉士が1名増えました。

感染症の流行が度々訪れたため、外部研修ではなく内部研修で知識を高め、ズームにて研修を受けるなど、認知症に関することや感染等必要な知識を高めました。

## 1 健全経営

◆情報共有の見える化◆

法人との連携、情報共有、困りごとの相談ややりたいことの提案、的確にアドバイスをいただき、クロノスを使ったスケジュールの共有を行うことで他事業所の動きも確認できるようになり、連絡等もスムーズに行うことができました。

◆運営推進会の開催◆



2か月に1回の運営推進会議は、行政、地域の企業様、地域住民の皆様のご協力の基、清栄町の生活館を使用させていただき開催いたしました。

また、地域の困りごとも運営推進会議の後、地域包括を中心に実施しました。

認知症の困難事例の検討や、各企業サービスの情報共有等行うことができ、まどかを知っていただき、まどかに頼って頂けるように今後も情報発信してまいります。

◆地域の集いの場として◆

5月には毎年恒例の御神輿さんがまどかを来訪され、おトイレの開放や一休みをしていただけるようお菓子や飲み物を準備し休憩所として活用していただきました。

また、バス待ちの地域高齢者に対し、夏場の日よけや休める椅子の提供等で地域の方と交流を行いました。

今年度はまどか主催のお祭りは感染症等の流行を考慮し開催を見送りました。



## 2 サービスの質の向上

◆生産性向上◆

パソコンを各棟に設置していただき、記録のIT化24時間シートへの記録へ変更し、業務効率が上昇しました。

高齢のスタッフもおりに記録動作が難しいスタッフもいますが、できることをできる人が行うこととし、スタッフ間で記録に関するコミュニケーションも増えました。

また、クロノスの導入により、スケジュールが共有でたり、勤怠管理がスムーズになるなど、管理業務の生産性が向上しました。

さらに、記録を手書きからデジタル化し、スタッフの書く作業が減りその分入居者様と関わる時間が増えたことで入居者様もスタッフも嬉しそうな印象となっております。

◆認知症に対する知識習得◆

認知症に関する知識を地域に提供する立場として、YouTubeや資料等を使用した勉強を実施しました。

外部研修受講はできなかった為来年度は外部研修を受講し、新しい知識や技術を習得したいと思います。

◆施設環境を整備◆

住環境を整備したり、余暇時間を楽しめるようにファイヤースティックを導入し、YouTube等色々なコンテンツが楽しんでいただくことができました。

まどかでは昔懐かしの曲をテレビで聴くのが流行っており、画面で自ら曲を選び曲を楽しむこの光景が当たり前となりました。

その他体操やドリフターズで大笑いも日常にしております。

また、2階の会議スペースを確保し、入居者様も気軽に使用できるスペースづくりを実施しました。

スタッフの休憩場所としても活用され、横になって休むスタッフも増えております。

今後、地域への開放等使用方法を検討していきたいと思っております。

◆情報共有◆

クロッシオンにて委員会や会議の情報を共有していただき、適宜参加することで情報を得ることができ、得た情報をスタッフが伝えることが少しずつ浸透しています。

◆多職種連携◆

まどかでの全体会議は1カ月に1度程度開催し、情報や知識の共有を実施しています。

また、協力医や訪問看護、理学療法士の方々からそれぞれに情報をいただきながら、入居者様が安心した毎日が過ごせるよう情報を共有しケアに反映させました。

### 3 地域貢献

◆地域活動への参加◆

町内会のごみ拾い活動や近隣保育園のハロウィン行事にお菓子の提供を実施し、継続して地域貢献を行うことで、まどかの入居者様と地域との繋がりが深まりました。

また、11月にはリスタで開催された音楽の夕べに参加し音楽を楽しまれ知人やお孫さんに会える等、音楽だけではない楽しみも多くありました。



### ◆共同開催行事への参加◆

ライフネットゆうばりで毎年開催されるふれあい祭りが雨の為中止となり、合同開催を行うことができませんでしたが、地域で開催される夏祭りや法人の秋祭りに参加することができ、久々のお祭りでビールを飲んだり、好きな物を食べる等思いっきりお祭りを楽しませていました。



### ◆認知症サポーター研修◆

小学校運動会の見学や認知症キッズサポーター講習の開催、こども園の小運動会見学やお遊戯会の見学、高校生とは認知症サポーター講習や学校祭のよさこい見学で交流ができました。

中学校との交流ができていないため今後の課題とし取り組んで参りしてまいります。



◆季節行事の開催◆

季節に応じた行事に入居様が楽しまれている様子をお便りにてご家族へ発信しました。

今後は、ご家族様も一緒に過ごせるような企画を増やしていけるようにしたいと思います。



◆「オレンジカフェ」の開催◆

毎月20名を超える地域の方や陽光の入居者様と交流し、認知症予防や昔の回想、ふまねっと運動等笑顔満載で、地域の方との交流を楽しんでおります。

4 人材育成・確保

◆離職者「0」◆

一号棟職員平均年齢61歳、二号棟職員平均年齢63歳と平均年齢は高めではありますが、年齢等に応じて短時間勤務への変更等行い、季節雇用者の就労等も採用して離職者は「0人」でした。

◆スタッフ休憩室の整備◆

休憩スペースの確保により、ゆっくり休憩できるとスタッフから喜びの声が聞かれている一方で、休憩スペースを2階としたことで階段の上り下りが大変だという声も聞かれている為、今後1階でも気軽に休める場所を検討したいと思います。

『共用型デイサービス』

◆稼働率68.9%（目標75%）◆

利用者9名の内、3名がまどかに入居となりました。

コロナウイルスによるクラスター発生等の影響もあり稼働目標は未達でした。

## 1 健全経営

健全な運営を目指し、1日平均17名以上の利用を目標としてまいりましたが、本年度は1日平均16.2名（介護11.9名、総合事業4.3名）で、稼働率は90%となりました。

また、運営推進会議については、規定どおり半年に1度以上の開催を実施いたしました。

運営状況の情報公開については、現在ホームページの全面リニューアルを検討中であるため更新には至っておりませんが、今後はSNS等の活用も含めた発信体制の整備を進めてまいります。

さらに、各居宅介護支援事業所との連携を図り、車椅子利用者など様々なニーズに柔軟に対応できる体制づくりに取り組み、今年度は5名の車椅子利用者の受け入れを行いました。

ケアマネジャーからは「柔軟に受け入れてもらえて助かる」「急な変更にも対応してもらえて助かる」といった評価をいただいております。

## 2 サービスの質の向上



本年度は、法人ホームページや各種ソーシャルメディアを活用した「すずらん」の情報発信を目標に掲げておりましたが、法人全体のSNSチームが新たに発足したことにより、今後は法人全体で「すずらん」の情報発信も行っていく方針となりました。

虐待防止に関しては、夕張市地域包括支援係が主催する研修の内容を事業所内で共有し、不適切な言葉遣いを含むケアの見直しを行いました。

また、送迎時における居宅内での介助については、通所介護計画書に位置づけたうえで、電気の消灯や施錠等、必要に応じた支援を2件実施し、柔軟な対応を行いました。

### 3 地域貢献

夕張市より依頼を受け、地域住民や夕張高校生を対象とした認知症サポーター養成講座を開催いたしました。

また、夕張市の地域リハビリテーション事業の一環として、すずらんの施設を会場に、すずらん利用者、陽光入居者、地域住民が参加するリハビリテーションの実施に協力いたしました。



さらに、すずらんをより多くの方に知っていただけるよう、体験利用の受け入れにも取り組み、2か月に1度程度、体験利用の相談を受け付け実施いたしました。

### 4 人材育成・確保

本年度は、外部で開催される通所系サービスに関する研修への参加はできませんでしたが、グループ施設である特別養護老人ホームの委員会に参加し、内部研修や検討会等を通じて知識の共有とスキルの向上に努めました。

また、無資格職員に対する認知症基礎研修等の受講推進については、該当する対象者がいなかったため、実施はありませんでした。

今後もサービスの質の向上と、未経験者でも働きやすい職場環境の整備に取り組んでまいります。

## 1 健全経営

本年度は、年間稼働率98%を目標として運営を行い、結果として稼働率は99.7%を達成いたしました。

令和7年3月に1名が自法人のグループホーム「まどか」へ転居したことによる退去が1件ありましたが、その他に大きな空室の発生はありませんでした。

また、空室を活用した短期間での入居（ショートステイ）については、空室発生の頻度が極めて低く、現時点でその需要はほとんど見られませんでした。

## 2 サービスの質の向上

本年度は、毎月の誕生会を開催し、対象となる入居者のご希望を伺ったうえで、特養の厨房職員と連携し、寿司・てんぷら・ラーメンなどのリクエストに応じた食事会を実施いたしました。

ご本人の嗜好に合わせた提供により、入居者の皆様に大変喜ばれました。

また、施設は築14年目を迎え、居室のドアや天井、廊下等に経年劣化が見られることから、清掃員による美装を徹底するとともに、修繕が必要な箇所については優先順位を定め、段階的な修繕を計画的に実施してまいります。



### 3 地域貢献

本年度は、地域リハビリテーション活動やオレンジカフェを通じて施設を地域に開放し、入居者と地域住民との交流の機会を設けました。

中には、数十年ぶりの再会を喜ぶ入居者の姿も見られ、心温まる交流が実現しました。

今後は、地域に開放する機会をさらに増やし、入居者と地域社会とのつながりを一層深めてまいります。

また、日々の関わりや食事会を通じて入居者同士の親睦も深まり、困りごとがあった際には自然と助け合う様子も見られるなど、共助の力を育む取り組みも進めてまいりました。



### 4 人材育成・確保

毎月誕生会を実施し、入居者の皆様に喜んでいただきました。

また、5月には畑おこしと植え付け作業を行い、枝豆やなすびなどを入居者とともに育てました。

日々の成長を皆で見守りながら、収穫の際には大きな喜びと達成感を感じていただくことができました。

## 1 健全経営

本年度は、月平均要介護利用者129名、介護予防34名、全体で163名を受託し、目標を上回る実績となりました。

新規利用者は37名（うち予防から介護への移行6名）、死亡18名、施設入所15名、入院終了4名であり、9月以降は利用者数がやや減少しました。

事業所相談は33件あり、真摯に対応しました。

3月にはケアプラン相談センターより14名（介護10名、予防4名）の引継ぎがあり、次年度より利用開始予定です。

また、医療との連携を強化し、入院時には情報提供を行い、入院時情報連携加算を35件取得しました（ターミナルマネジメント加算は0件）。

退院・退所時にはカンファレンスに参加し、適切に情報共有を行い、退院・退所加算を2件取得しました。

## 2 サービスの質の向上

本年度は、特定事業所加算Ⅱの継続に向け、週1回の定例会議を欠かさず実施し、要件を満たして加算の算定を継続しました。

介護支援専門員実務研修の実習受入れについては、マッチングの結果、要請はありませんでした。

記録の充実と朝のミーティングによる情報共有を通じて、担当者不在時も適切な対応ができる体制を整えました。

資質向上の取り組みとしては、12月に地域包括支援センターや他法人事業所と共同で事例検討会を開催し、地域ケア会議にも2回出席するなど、在宅生活の継続に向けた支援を推進しました。

## 3 地域貢献

地域が抱える課題に対して法人全体で連携し、生活状況に応じて社協・行政・司法の支援やインフォーマルサービスの紹介を行い、多様な支援が包括的に提供されるよう支援に努めました。

3月には、配食サービス事業所の破綻を受け、他のケアマネジャーと連携し新たな事業所への交渉を行うなど、社会資源の開発にも取り組みました。

また、介護保険請求に至らない相談も含め、介護申請の支援や入所相談などに真摯に対応し、信頼される事業所を目指して活動を行いました。

#### 4 人材育成・確保

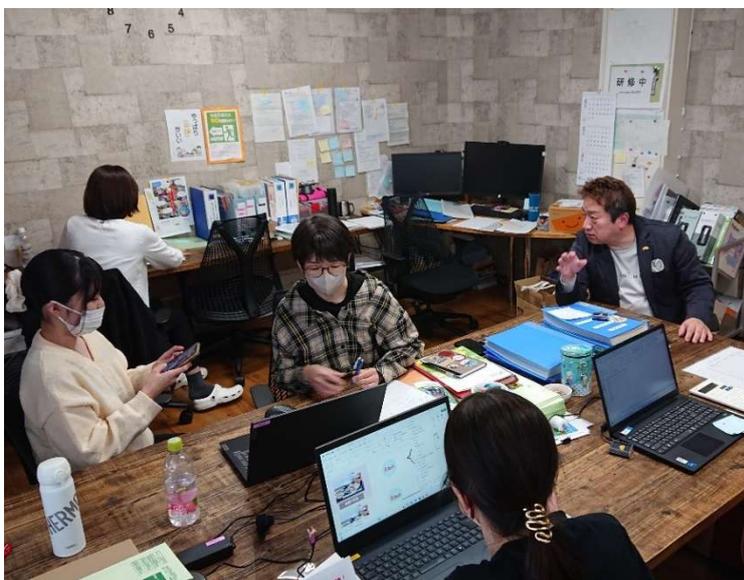
特定事業所加算の要件である計画的な研修の実施および多様な対象者への支援に関する知識の習得に向け、内部研修を2回実施し、外部研修（Z o o m研修を含む）にも5回参加するなど、継続的なスキル向上に取り組みました。

◆活動報告◆

令和7年6月グランドオープンを目標に、新たな事業として地域に開かれた「デイサービス」「誰でも気軽に立ち寄れる地域カフェ」を一体型で運営するため、介護保険制度の基準を満たしつつ、地域ニーズに応える柔軟な運営を意識し、地域に根差した新たな福祉拠点となり、南空知を結び繋がる場所となるよう令和7年1月開設準備室を設置し準備に取り組んでまいりました。

1 デイサービス開設準備

- ・施設整備：内装工事、車両・備品等を選定し購入
- ・許認可申請：介護保険事業者指定申請、消防検査、建築検査の相談、申請
- ・人材採用：介護職員、看護職員兼機能訓練指導員、送迎運転手を採用
- ・運営マニュアル：介護、緊急時対応、感染症対策等マニュアルの整備
- ・渉外活動：パンフレット作成、ケアマネジャーや地域住民向け営業活動を実施
- ・書類整備：運営指針、運営規定、契約書、重要事項説明書作成
- ・イベント企画：内覧会、オープニングセレモニーの準備



## 2 地域カフェ開設準備

- ・施設整備：厨房設備、調理器具の整備
- ・保健所手続き：飲食店営業許可を申請し取得しました。
- ・メニュー開発：フードロス、提供時間を意識し、高齢者にも配慮した内容としました。
- ・カフェスタッフの採用（調理、接客、レジ締め担当）
- ・研修：食品衛生責任者講習受講、食品メーカー展示会参加
- ・2月19日「ベーカリー展示会」
- ・3月19日「日本食研プレゼンテーション」



### 3 今後に向けて

地域との関係構築をより一層進めるため、認知度向上に向けた渉外活動や内覧会、オープニングセレモニーを開催いたします。

また、円滑な運営開始に向けて、事前シミュレーションやスタッフによる総合訓練を実施いたします。

開設後は、デイサービスの利用促進と地域カフェの活性化を図りながら、スタッフ研修を断続的に実施し、サービスの質の向上に努めます。

地域に愛される施設を目指し利用者様、地域住民の皆様に寄り添った運営を行ってまいります。

■令和6年度 理事会開催状況

会議名	開催日	出席者数	会議の内容
第1回理事会	4月25日	理事 6 監事 2	<p>第1号議案 定款の一部変更について</p> <p>第2号議案 定款細則の一部変更について</p> <p>第3号議案 理事長専決規程の廃止について</p> <p>第4号議案 職務権限委任規程の一部変更について</p> <p>第5号議案 役員等報酬規程の一部変更について</p> <p>第1号報告 夕張市特別指導監査の結果報告について</p> <p>第2号報告 評議員について</p> <p>第3号報告 監事監査報告</p>
第2回理事会	5月24日	理事 6 監事 2	<p>第1号議案 専務理事の選任について</p> <p>第2号議案 常務理事の選任について</p> <p>第3号議案 評議員の推薦について</p> <p>第4号議案 評議員選任・解任委員の選任について</p> <p>第5号議案 評議員選任・解任委員会の開催について</p> <p>第6号議案 エアコン整備について</p> <p>第1号報告 定款認可について</p> <p>第2号報告 今後の資金損失問題の対応について</p>
第3回理事会	6月6日	理事 6 監事 2	<p>第1号議案 令和5年度事業報告(案)について</p> <p>第2号議案 令和5年度決算報告(案)について</p> <p>第3号議案 補正予算案について</p> <p>第4号議案 定時評議員会の開催について</p> <p>第1号報告 評議員「服部幸子」の選任について</p> <p>第2号報告 監事監査報告</p> <p>第3号報告 理事長の業務状況報告</p> <p>第4号報告 介護報酬について</p>
第4回理事会	8月8日	理事 5 監事 2	<p>第1号議案 (仮称) デイサービスセンター栗山清光園の設置計画(案)について</p> <p>第2号議案 資金問題について</p> <p>第3号議案 評議員会の開催について</p> <p>第4号議案 勤怠管理システム「クロノス」の導入について</p> <p>第5号議案 経理規程の一部変更について</p> <p>第6号議案 職員紹介制度規程の制定について</p>
第5回理事会	9月7日	理事 6 監事 1	<p>第1号議案 土地建物購入費用の借入について</p> <p>第2号議案 キッチンカーの導入について</p> <p>第1号報告 勤怠管理システムクロノスの導入について</p>
第6回理事会	11月8日	理事 5 監事 2	<p>第1号議案 資金問題について</p> <p>第2号議案 定款の改定について</p> <p>第3号議案 評議員会の開催について</p> <p>第4号議案 リファラル制度の導入について(就業規則及び給与規程の改定)</p> <p>第5号議案 給与規程の改定について</p> <p>第6号議案 生活資金貸付制度規程の改定について</p> <p>第7号議案 テレワーク規程の新設について(就業規則の改定)</p> <p>第1号報告 監事監査報告(第1四半期)</p> <p>第2号報告 理事長及び業務執行理事の職務状況報告</p>
第7回理事会	12月12日	理事 6 監事 2	<p>第1号議案 資金問題について</p> <p>第2号議案 テレワーク勤務規程について</p> <p>第3号議案 キッチンカーの導入について</p> <p>第4号議案 特養ユニット調理カウンターの改修工事について</p> <p>第5号議案 法人本部事務局長の変更について</p> <p>第6号議案 SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みについて</p> <p>第7号議案 栗山新事業所の改修工事業者の選定方法について</p> <p>第8号議案 栗山新事業所デイサービス事業送迎車両のリース契約について</p> <p>第1号報告 コーポレートマークのリニューアルについて</p> <p>第2号報告 栗山に新設する事業所開設に向けての経過報告</p> <p>第3号報告 栗山新事業所の名称について</p>
第8回理事会	1月10日	理事 5 監事 2	<p>第1号議案 栗山新事業所改修工事に係る入札結果及び契約について</p> <p>第2号議案 ポジティブアウトフィットおよびスマビリティ経営方針策定支援導入について</p> <p>第3号議案 理事の交代について</p> <p>第4号議案 評議員会の開催について</p> <p>第5号議案 法人用公用車の購入について</p>
第9回理事会	3月3日	理事 6 監事 2	<p>第1号議案 「オミ・ビスタ3」のリース契約について</p> <p>第2号議案 「キッチンカー」の導入について</p>
第10回理事会	3月21日	理事 6 監事 2	<p>第1号議案 定款の変更について</p> <p>第2号議案 令和7年度事業計画(案)について</p> <p>第3号議案 令和7年度収支予算(案)について</p> <p>第4号議案 総合施設長の新設及び定款細則並びに職務権限委任規程の変更について</p> <p>第5号議案 「育児・介護休業等に関する規則」の廃止及び「育児・介護休業規程」の制定について</p> <p>第6号議案 職員就業規則の変更について</p> <p>第7号議案 契約職員就業規則の変更について</p> <p>第8号議案 人事考課規程の全面改定について</p> <p>第9号議案 第7回評議員会の開催について</p> <p>第1号報告 資金問題について</p> <p>第2号報告 理事長・業務執行理事の職務執行状況報告</p>

■令和6年度 監事監査

会議名	開催日	出席者数	会議の内容
決算監査	5月29日	監事 2	令和5年度各会計決算状況について
随時監査	10月18日	監事 2	令和6年4月1日から6月30日までの各会計執行状況について
随時監査	12月27日	監事 2	令和6年7月1日から9月30日までの各会計執行状況について
随時監査	3月21日	監事 2	令和6年10月1日から12月31日までの各会計執行状況について

■令和6年度 評議員会実施状況

会議名	開催日	出席者数	会議の内容
第1回評議員会	4月25日	評議員 7 監事 2	第1号議案 定款の一部変更について 第2号議案 役員等報酬規程の一部変更について 第1号報告 夕張市特別指導監査の報告結果について 第2号報告 評議員について
定時評議員会	6月24日	評議員 7 監事 2	第1号議案 「令和5年度事業報告」について 第2号議案 「令和5年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録」について 第1号報告 今後の資金損失問題の対応について
第3回評議員会	8月29日	評議員 6 監事 2	第1号議案 土地・建物の購入について 第2号議案 資金問題について
第4回評議員会	11月18日	評議員 7 監事 2	第1号議案 定款の変更について 第2号議案 資金問題について
第5回評議員会	12月12日	評議員 6 監事 2	第1号議案 資金問題について 第2号議案 テレワーク勤務規程について 第3号議案 キッチンカーの導入について 第4号議案 特養ユニット調理カウンターの改修工事について 第5号議案 法人本部事務局長の変更について 第6号議案 SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みについて 第7号議案 栗山新事業所の改修工事業者の選定方法について 第8号議案 栗山新事業所デイスサービス事業送迎車両のリース契約について 第1号報告 コーポレートマークのリニューアルについて 第2号報告 栗山に新設する事業所開設に向けての経過報告 第3号報告 栗山新事業所の名称について
第6回評議員会	1月23日	評議員 7 監事 2	第1号議案 理事の選任について 第1号報告 栗山新事業所改修工事に係る入札結果及び契約について 第2号報告 サステナビリティ経営方針策定支援について
第7回評議員会	3月31日	評議員 6 監事 2	第1号議案 定款の変更について 第2号議案 令和7年度事業計画（案）について 第3号議案 令和7年度収支予算（案）について 第1号報告 「オミ・ピスタ3」のリース契約について 第2号報告 「キッチンカー」の導入について 第3号報告 総合施設長の新設及び定款細則並びに職務権限委任規程の変更について 第4号報告 「育児・介護休業等に関する規則」の廃止及び「育児・介護休業規程」の制定について 第5号報告 職員就業規則の変更について 第6号報告 契約職員就業規則の変更について 第7号報告 人事考課規程の全面改定について 第8号報告 資金問題について

■令和6年度 評議員選任・解任委員会

会議名	開催日	出席者数	会議の内容
評議員選任・解任委員会	5月29日	外部委員3 内部委員1 監事1	評議員の選任

■令和6年度 夕張市指導監査

会議名	開催日	出席者数	会議の内容
夕張市指導監査	10月29日	夕張市2名 理事3名 職員2名	【文書指摘】 なし 【口頭指摘】 役員及び評議員の選任にあたり、欠格事由の確認、及び、法令等で定める特殊関係者及び暴力団等の反社会的勢力の者が含まれていないことの確認が口頭により行われていることが認められたので、是正すること。 【是正対応】 理事・監事・評議員から身分証明書を取得し欠格事由に該当しないことを確認した。

■R6年度 特長 稼働率 目標稼働率： 96.2% %

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	96.2	96.2	96.2	96.2	96.2	96.2	96.2	96.2	96.2	96.2	96.2	96.2	96.2
実績	92.9	95.8	90.5	88.5	89.6	90.3	93.3	94.0	93.9	99.1	99.0	99.4	94.1
差異	-3.3	-0.4	-5.7	-7.7	-6.6	-5.9	-2.9	-2.2	-2.3	2.9	2.8	3.2	-2.1

■R6年度 短期 稼働率 目標稼働率： 100.0% %

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績	135.3	112.9	132.7	72.3	65.8	80.7	91.6	128.0	146.5	70.3	94.3	101.3	102.5
差異	35.3	12.9	32.7	-27.7	-34.2	-19.3	-8.4	28.0	46.5	-29.7	-5.7	1.3	2.5

■R6年度 特長+短期 稼働率 目標稼働率： 96.4% %

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	96.4	96.4	96.4	96.4	96.4	96.4	96.4	96.4	96.4	96.4	96.4	96.4	96.4
実績	94.8	96.6	92.2	87.7	88.5	89.8	93.2	95.6	96.2	97.8	98.8	99.4	94.5
差異	-1.6	0.2	-4.2	-8.7	-7.9	-6.6	-3.2	-0.8	-0.2	1.4	2.4	3.0	-1.9

■R6年度 特養 要介護度推移 目標平均要介護度： 3.56 延べ利用者数

要介護1	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
実績	1	1	1	0	0	0	1	1	2	2	1	1	11
差異	0	0	0	-1	-1	-1	0	0	1	1	0	0	-1

要介護2	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
実績	7	8	8	6	7	8	10	10	11	12	12	12	111
差異	-2	-1	-1	-3	-2	-1	1	1	2	3	3	3	3

要介護3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480
実績	38	40	40	41	41	42	44	41	41	39	40	39	486
差異	-2	0	0	1	1	2	4	1	1	-1	0	-1	6

要介護4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480
実績	38	36	36	36	33	33	33	34	33	33	32	32	409
差異	-2	-4	-4	-4	-7	-7	-7	-6	-7	-7	-8	-8	-71

要介護5	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
実績	19	19	19	17	18	17	16	17	19	19	20	20	220
差異	4	4	4	2	3	2	1	2	4	4	5	5	40

平均介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
目標	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56
実績	3.65	3.62	3.62	3.64	3.63	3.59	3.51	3.54	3.53	3.52	3.55	3.56	3.58
差異	0.09	0.06	0.06	0.08	0.07	0.03	-0.05	-0.02	-0.03	-0.04	-0.01	0.00	0.02

■R6年度 短期 要介護度推移 目標平均要介護度： 1.97 延べ日数

要支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10
差異	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10

要介護1	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	564
実績	58	38	52	61	18	10	28	37	58	27	21	15	423
差異	11	-9	5	14	-29	-37	-19	-10	11	-20	-26	-32	-141

要介護2	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	1020
実績	109	94	54	21	51	65	54	101	86	37	53	46	771
差異	24	9	-31	-64	-34	-20	-31	16	1	-48	-32	-39	-249

要介護3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	828
実績	24	30	60	6	6	16	22	15	31	21	16	15	262
差異	-45	-39	-9	-63	-63	-53	-47	-54	-38	-48	-53	-54	-566

要介護4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	396
実績	9	4	25	22	17	20	29	28	43	18	25	58	298
差異	-24	-29	-8	-11	-16	-13	-4	-5	10	-15	-8	25	-98

要介護5	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
実績	2	4	7	2	10	10	9	9	8	6	7	9	83
差異	-4	-2	1	-4	4	4	3	3	2	0	1	3	11

平均介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
目標	1.97	1.97	1.97	1.97	1.97	1.97	1.97	1.97	1.97	1.97	1.97	1.97	1.97
実績	1.95	2.07	2.40	1.96	2.51	2.63	2.56	2.32	2.37	2.44	2.39	3.00	2.38
差異	-0.02	0.10	0.43	-0.01	0.54	0.66	0.59	0.35	0.40	0.47	0.42	1.03	0.41